

# 石巻新庄道路 事業化へ結束

## 国会議員と初懇談

東京



宮城県石巻市と酒田市を結ぶ地域高規格道路の早期整備を目指し、沿線の関係者が2日、東京・永田町で

宮城、山形両県関係国会議員と初の懇談会を開いた。写真。依然として候補路線にとどまっている石巻新庄道路の一日も早い事業化に向け、結束することを確認した。

石巻―酒田間は石巻新庄道路(延長約110キロ)と新庄酒田道路(同約50キロ)の地域高規格道路両路線でつなぐ構想があり、東北で太平洋から日本海の都市間距離が最も短いため「みちのくウエストライン」と称

される。関係期成同盟会の会長を務める山尾順紀新庄市長は「緊急医療、経済、広域観光の連携と交流に欠かせない重要路線。できるだけ早く石巻新庄道路が計画路線に格上げされるよう望む」などと訴えた。

山形県関係国会議員はい

ずれも自民の鈴木憲和衆院議員(県2区)加藤鮎子衆院議員(県3区)岸宏一参院議員(県選挙区)大沼瑠穂参院議員(同)が出席、意見を述べた。

同席した国土交通省の森昌文道路局長は「重要な路線であることは認識してい

る。地域でしっかりと将来像を描いていたきたい。その考えを踏まえ、道路事業をどう進めていくか検討する」と述べた。

宮城、山形両県議、両県幹部、沿線の市町村長、市町村議、商工観光団体の代表ら約90人が出席した。